

大安場古墳概要

種 別：国指定史跡（2000（平成12）年9月6日指定）
所 在 地：郡山市田村町大善寺字大安場160
内 容：1号墳は全長約83mの東北最大級の前方後方墳で古墳時代前期後半に築造された阿武隈川流域で最大級の古墳。
指定範囲：2号墳を含む2.3ha
そ の 他：腕輪形石製品など出土品の一部は県指定重要文化財に指定

史跡整備の経過

1999（平成11）年	整備基本計画策定
2001（平成13）年	基本設計
2005（平成17）年～	段階的に整備開始
2009（平成21）年4月	大安場史跡公園として開設
2017（平成29）年	子どもの遊び場を設置

計画策定の経緯と基本方針

- 整備後15年以上を経過し老朽化が進行した設備の再整備・機能見直しの必要
- 近隣の正直古墳群の発掘調査が進み、大安場古墳との関連について重要性が増大
- 2025（令和7）年に本市の通史を取扱う「郡山市歴史情報博物館」が開設
⇒ 役割分担を図る観点から、ガイダンス施設の展示内容の見直しが必要

基本方針

1. 東北最大級の前方後方墳を含む史跡大安場古墳や周辺遺跡の本質的価値の理解を深めるとともに、遺跡の適切な保存に努め、次世代へ確実に継承していく。
2. 今後も都市公園として緑のレクリエーション空間を提供し地域住民の良好な生活環境を維持する。
3. 文化財の活用の観点から、貴重な歴史資源を基礎とした観光振興の拠点としての史跡大安場古墳の利活用を図る。
4. 郡山の古墳時代を中心とした歴史について体験し、学ぶことが出来る歴史についての生涯学習の拠点としての活用を図る。
5. 地域と共に存する史跡として、地域ボランティアの活用だけでなく、地域住民自らが魅力発信の担い手になるなど、地域とのつながり拡大を目指す。



保存・活用・整備の方針

「史跡エリア」・歴史とのふれあいをテーマとする「公園西エリア」・遊びをテーマとする「公園東エリア」にゾーニングし、それぞれに保存・活用・整備を図る。

保存	史跡エリアは国指定史跡の確実な保存に努め、他エリアは埋蔵文化財包蔵地に配慮しつつ適正な管理を実施する。
活用	国指定史跡及び周辺遺跡の歴史をガイダンス施設で伝えるとともに、景観など歴史以外の魅力も広く伝え、教育の場だけでなく観光資源として更なる活用を図る。
整備	老朽化や再整備が必要な箇所については、利用者の安全確保、低コスト、長寿命化を念頭においた整備を計画的に実施する。

